

(審議内容の一部を掲載しました。)

# 委員会レポート



## 工事費800万円の予算組み替えで 道路拡幅改良“前倒しに”

## しなの鉄道増便で住民の足確保

### 総務福祉文教

### 町民建設経済

#### 平成27年度決算

**医療提供体制推進事業補助金500万円の事業内容は。**

**A** 御代田中央記念病院の行なった施設改修などの費用の利子補給をしている。

平成26年から10年間2分の1、利子補給金が1千万を超えた場合に500万円を上限に支出している。

しなの鉄道の増便について、増便の総事業費は、また、負担割合は。

**A** 総事業費は4千377万円、しなの鉄道の負担分は45%程度で残りの額の半分が3市町での均等割となる。また残りの半分については乗降人数割となり、小諸市が43%、軽井沢町が42%、御代田町が15%で負担金の合計は579万円である。



しなの鉄道

#### 自殺対策緊急強化補助金の事業内容は。

**A** 健康推進係の社会福祉士が、精神障がい者の方などの相談にのり、ケアを行っている。

また、住民の方たちに心の健康維持の目的で年一回講師を招いて講演会などを行っている。

国民健康保険事業の実質収支は2億4千万円ということ、医療費が年々増える中27年度はいい方ではないか。法定外繰入の2千万円を毎年確認することも大切ではないか。

**A** 27年度の決算は、確かに余裕がある状況だが、県から一般療養費の3ヶ月分を基金や予備費で備えておくように指導がある。現在1月当り、一般療養費と高額医療費を合わせて8千万円程度になるので、妥当な数字であり、国民健康保険の運営が県に移行される30年までは、この方針とする。

#### 平成28年度補正予算

養育診断キット購入費13万円の詳細は。

**A** デイスク4という発達を測定するバズルのようなキットを購入する。検査の方法は、保護者と児童、生徒を含めて様子を見ながら、話し合いをし、検査が必要かどうかを判断する。

#### 平成27年度決算

浅麓環境施設組合(し尿・生ごみ処理場の負担金の推移と、公債費(施設建設費の借金の償還予定)は。

**A** 27年度は8千723万円支出したが、設備更新時期が来た平成25・26年の2年間で、処理費用の高い湿式酸化設備から一般的な処理方式の設備に改修し、費用は抑えられている。(25年度、9千700万円)

経営改善もしている。この数年は8千万円台で推移していくと考えている。

公債費の返済は平成33年で終了する。今年は一筆費用のかかる人件費にメスを入れるため、包括的民間委託について、コンサルタントに研究を委託した。

報告の結果、民間委託の方が安くなる場合、平成30年度からの移行を予定し、職員は構成各自治体への身分移管を考えている。

セツトバック(狭あい道路解消)の用地購入費が計上されているが、道路の拡幅ができずうな路線は発生したか。

**A** 建築確認申請で道路後退を確認し、道路後退用地として買収をしているが、27年度は拡幅が可能になった路線は発生していない。

今年度以降も、建築行為が生じた時点での道路後退となるため、具体的な路線は予定していない。

とになれば、保護者の了解のもと、臨床心理士の先生に検査を依頼する。

職員の健康診断システム借上げ料9万円のストレスチェックとは何か。また、心のカウンセラー委託との関係は。

**A** システム借上げによるストレスチェックは、ID、パスワードの発行をするものである。そのIDやパスワードを使用して職員は業務用パソコンから入力をし、総務で確認することになる。

今後は、ストレスチェックの内容をみて必要ならばカウンセラーに相談する体制をとってきたい。

共同調理場施設修繕費の増額理由は。

**A** 共同調理場の利用から5年が経過しているところ、損傷が出ている。一つの原因は、水が硬水であることにある。

特に蒸気管の継手などの破損が続いている。そのことから不測の事態に備えての増額である。



27年度の有害鳥獣駆除頭数は。また現時点でのクマの状況と対策は。

**A** 27年度は、シカ84頭、イノシシ11頭、クマ7頭で、合計102頭であった。

クマの状況は8月末での比較となるが、27年度は捕獲2頭、殺処分1頭。本年度は捕獲13頭、殺処分4頭となっている。出没頭数が増えている要因として、山の食べ物が少ない事と、トウモロコシやブロッコリーの味を覚えてしまったためと推測している。対策は補殺が効果的だが、住民に危険が及ぶ恐れが想定される場合などに、1頭ずつの申請が必要で適時対応ができない。

当町における公園や遊具の点検管理状況は。

**A** 遊具の点検は、国から認められた資格を有する業者に委託している。結果はA〜Dの状況で判断され、不可の場合はすみやかに修繕している。利用可でも心配な遊具は業者と相談し修繕している。

汚れのある案内看板などは、更新の要否を検討していきたい。

砂場を含め点検業者に指摘を受けている施設もあるので、利用状況を踏まえながら改善あるいは他の施設への変更を考えたい。

毎週職員が公園を点検しゴミなどを除去しているが、大きな石など対応しきれないものもあるが、できる限り対応していきたい。

#### 平成28年度補正予算

都市再生整備計画事業経費の中で、工事費800万円が組み替えられているが、計画場所と組み替え理由は。

**A** 移住定住の促進を図ることを目的として、新たな住宅分譲用地の検討を進めている。その一つが、町営住宅平和台団地跡地である。ここは道路整備が済み次第、比較的事業実施が容易で、少しでも早く事業効果が上がる場所と考えている。

今年度の児玉荒町線の整備延長は、杉の子幼稚園からアルルまでとなっていたが、今年度2路線の工事を発注したところ、工事差金が出たので、全体計画を見直し、フラワーマイトまで実施計画を終わらせることにした。浮いた工事費を実施設計や用地取得費に変更するものである。



工事中の児玉荒町線